

学校の屋上

◇かつて屋上は遊び場だった

今の学校では、屋上へ行くことはほとんどありません。屋上への出入り口には、立ち入り禁止のテープがはってあります。社会科の時間などで学校の周りの様子を調べるときに学校の屋上へ行くことがありますが、あとは、津波や洪水に備えて行われる避難訓練の時くらいです。

北陽小学校の屋上は、かつて、子ども達が休み時間に自由に使うことができました。「4年生になったら、自分達で屋上へ行って遊んでも良い。」というルールがあったからです。だから、休み時間にはたくさんの子ども達が屋上を走り回っていました。休み時間だけではなく、授業でも時々使われていました。「今日は天気が良いので、屋上で算数をするか。」というような「青空教室」もあったようです。当時の松任市内でも、そんな学校は他にはなかったと思います。

◇いつから使えなくなったの

その当時から、子どもだけでの使用は危険だという意見がありました。元号が昭和から平成に変わる頃だと思いますが、子どもだけでの使用は危険だということで、自由な使用が出来なくなりました。

北陽小学校の卒業生に、「休み時間などに屋上で遊んだことがありますか？」と質問すると、「そういえば、良く屋上で遊んだな。」と答える人と「屋上で遊んだ思い出はないな。」と答える人に分けられると思います。

北陽小学校の保護者の中には、本校の卒業生がたくさんいます。丁度、その人たちが小学生だった頃が変わり目だと思います。

◇屋上からの眺め（人工物だけが増えました）



南には白山
新幹線の線路ができた



北は遠くに日本海
田んぼがほとんどなくなった



東は医王山
開校当時とよく似た景色